

愛寿会だより

9 月号
第 87 号
平成 18 年
9 月 1 日発行



【「愛寿観音」完成！
— 去る八月四日開眼式が行われた —】

高齢者と人権

愛寿会理事・評議員

櫻井 義長

この度、愛寿会の理事・評議員に委嘱されましたが、この道全くの素人である私に、早速「愛寿会だより」第八十七号の巻頭言の寄稿を要請され困惑していました。こんな折、八月六日の朝日新聞に「東京の特養の入居者に職員が性的暴言」ショッキングな見出しに、私は人権擁護委員として市民の人権相談や啓発活動に関わっている者として驚きました。

わが国も長寿国となり、四人に一人が六十五歳以上の高齢者といわれています。こんな中で、「養護者や福祉施設従業者等が高齢者に暴言を加えること」「長時間養護を怠ること」「暴言または心理的外傷を与える言動をすること」「わいせつな行為をさせること」「財産の不当な処分、不当な利益を得ること」など、これらを「高齢者虐待」と定義しています。高齢者が被害になる、このような人権侵犯事件が最近増加しています。

被害者の多くは介護を受けていたり、認知症の場合が多く、児童虐待やDVに比べて表面化しにくく、また、家族や施設の職

員が自分では問題ないと思っている言動を虐待だと自覚していなかったり、家庭内や施設の問題として見過ごされてきたことから、高齢者への虐待の実態が把握されにくく対策が遅れておりました。

近年核家族化が進み、祖父母と同居の家も少なくなり、高齢者と触れ合う機会が少ない。また、加齢とともに身体能力が低下し、寝たきりの生活が余儀なくされることもある。このような高齢者の特性の理解が不十分のために、邪魔扱いされたり、差別的な態度をとられるといわれています。また、要介護者の介護期間の長期化、介護者の高齢化など家族の身体的・精神的な疲労が一因となっていることも否定できません。

こうした状況にあつて、子どもの時代から高齢者との交流を通して「若い」の実像を知り、高齢者の特性を寛大に受容する心を育成することが必要です。また、高齢者の知恵や体験を生かし、社会参加のできる環境を整備していくことも大切なことと思います。

高齢者の人権を守る体制・充実のための法律の整備を多くの自治体が国に要望していましたが、ようやく昨年十一月一日に「高齢者虐待の防止・養護者支援等に関する法律」が成立し、今年の四月一日から、この法律が施行され、その成果が期待されています。

(北杜市教育委員長)

料金後納郵便

〒7-4 佐川物流サービス(株)
品川区勝島1-1-1
返送先:〒140-0012

〒田入(郵便送付代行)
7-4

料金後納郵便

〒子小包

この封筒には住所・人名が印刷されています。
当社が郵便局へ委託して発送いたします。

― 「第二仁生園」 進捗状況 ―

身体障害者療護施設「第二仁生園」の建設事業が動き始めました。

七月二十四日 ・社愛発第七一―号

「山梨県補助金交付申請書」提出

二十六日 ・榎石本建築事務所と設計管理契約締結

・福祉医療機構へ「借入申込書」提出

八月 一日 ・指名業者へ「競争入札通知書送付」

四日 ・現場説明会開催

八日 ・社愛発八―三号

「北杜市補助金交付申請書」提出

十八日 ・入札実施（不調）

入札結果

八月十八日午後二時より、板山理事長をはじめ役員会の立会いにより指名競争入札が行われました。しかし、予定価格以下の入札がなく、最低入札業者との協議によっても工事の額が折り合わず不調に終わりました。よって、再入札を実施することとなりました。

― 愛寿観音さま ―

高根町 養福寺住職 北村学爾

八月四日、社会福祉法人愛寿会の役員・施設利用者・職員のみな様とともに、「愛寿観音」開眼法要をお勤めさせていただきました。

このたび仁生園にお迎えした「愛寿観音」は正式には「しょうかんぜんおんぼさつ聖観世音菩薩」と申します。中性的な美しいお姿で、手には清らかな心を表す蓮華のつぼみを持つておられます。私たちが目にする仏像はいくつかの種類に分けられます。



真理の世界からやって来て教えを説くほどけさまを「如来」といいます。釈迦如来・阿弥陀如来などが代表的な如来さまです。愛寿観音さまは菩薩さまの仲間です。「菩薩」とは、私たちとともに歩み、救ってくださるほどけさまであり、地藏菩薩・文殊菩薩などが代表的な菩薩さまです。観世音菩薩さまは

「世」＝世間、私たちの

「音」＝声を

「観」＝見ている、ほどけさまです。

つまり私たちの苦しみや悲しみの声にしっかりと耳を傾け、そして慈悲の心で救ってくださるありがたいほどけさまなのです。きつと愛寿観音さまも、お参りされる方の声に耳を傾け、救ってくださるはずであります。どうか素直な心で手を合わせお参りください。

また、愛寿観音さまにお参りされる方にお願したいのは、皆様方も観音さまのようになつていただきたいということです。私たちはつい「自分さえよければいい」と自分ひとりだけの幸せを願ってしまいがちです。しかし自分ひとりだけが幸せになることが本当の幸せでしょうか。

そうではなく、家族や地域の人や日本中、世界中の人、命あるものすべてが共に幸せになるように願い、行動する、そのことが実は私たち一人一人の幸せに繋がっているのです。

ぜひ観音さまのように、周りの方の声に耳を傾け、優しい心で救いの手を差し伸べてください。そうすれば必ず幸せな世界が築けるはずですよ。

愛寿観音さまから慈悲の心が大きく広がり、仁生園がさらに安らげる場所になることを心から願っています。

合掌

― 評議員挨拶 ―

愛寿会評議員に就任して

北杜市障害者団体代表

守屋 俊之

日増しに風が涼しくなり、八ヶ岳高原にもさわやかな秋の気配が感じられる季節となつてまいりました。

愛寿会の昭和四十八年創立以来の長年にわたる、介護保険事業、老人保健事業等、地域福祉の要望に即した幅広い事業展開への多大なるご尽力に、まずは心からの敬意を表させていただきます。また、この度、愛寿会評議員の役職を拝受させていただくにあたり、その責務を誠心誠意全うするべく、身が引き締まる思いであります。

今日、日々の医療環境の驚異的な向上、食生活を包含する生活環境の躍進、また社会環境の変化にともない、我々はこれまでにない、超少子高齢化社会を迎えております。これらの社会の変化にともない、今後、日本社会における福祉、介護にまつわる事業の重要性は一層増すばかりであるといつても過言ではありません。

身体障害者連絡会の会長を務めさせていただき、多くの北杜市の障害児、障害者の保護者の方々と協議する中で、近隣における身体障害者のための成熟した施設の重要性を日々強く痛感しております折、この

度の愛寿会による身体障害者療護施設「第二仁生園」整備事業の計画は大変喜ばしいものでございます。

この施設の運営に携わられる方々におきましては、障害者一人ひとりに人間としての尊厳、市民としての自由、また個性を際限なく尊重したケアと家庭的な環境づくりに努めていただきますよう、心からのお願いを申し上げますとともに、八ヶ岳の恵まれた自然環境の中で従来の施設ケアの枠を越えた素晴らしいサービスを提供し地域福祉に大きく貢献され、また発展されていくことに多大なる期待を寄せさせていただきます。愛寿会評議員への就任の挨拶と代えさせていただきます。



高齢者福祉に思う

北杜高等学校校長

坂本 仁

間違いなく私も何年後には高齢者になります。かつてすべての高齢者がそうであったように、どのような時代であれ、時代を選んで生きていくこと、一人では生きていくことは出来ません。

人はいつも誰かに支えられ、誰かを支えて生きていくといえます。この関係を制度として社会的に保障しているのが社会保険・社会福祉であり、今後ますます少子高齢化が進む中で、それらの制度や仕組みは現実にあわせて変化しながら、多様に展開していくことと思われまます。また、このような時代の流れの中で、最近では福祉に関心を持つ人が多くなり、特に職業として志す若者が増えていることは大変喜ばしい限りです。幸い本校の福祉教育も仁生園様をはじめ、多くの関係各位のご支援により充実してきたところです。今後とも時代の要請や変化に立ち遅れることなく、高齢者福祉の一端を担っていきたいと思います。

最後になりましたが、この度は愛寿会仁生園の評議員という大役を仰せつかりまして、責任の重さを感じていますが、微力ながら与えられました任期を一生懸命努力させて頂きます。仁生園のこれからの益々のご発展をご祈念申し上げます。



— 仁生園夏祭り —

八月四日、入居者のみな様が毎年楽しみにされている「仁生園夏祭り」が行われました。

北杜市議長清水壽昌様をはじめ、たくさんの方からご挨拶をいただき、入居者の代表の方による元気いっぱいの開会宣言で始まった今年の夏祭りは、とても充実したものととなりました。

入居者のみな様は、職員やボランティアの方々による出し物とたくさんの方の屋台で終始ご満悦の様子でした。最後に盆踊りを楽しみ、打ち上げ花火で幕を閉じました。

当日お忙しい中ご参加いただいたみな様、ご協力をいただいたすべてのみな様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

く デイサービスだより く

今月は、利用者の声をお届けいたします。

私と仁生園

相良 きく子

私は昨年九月ごろ、大井ヶ森に住む友人より仁生園のデイサービスは良いところだから一緒にいこうと誘われたのが、デイサービスを利用するようになったきっかけです。実際、利用してからすぐに多くのお友達が出来、デイサービスへ行く日が楽しみとなりました。

デイサービスの職員さんたちは、毎回、違ったレクリエーションを組んでくれていろいろな体験が出来、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。

そして、今年八月より仁生園特別養護老人ホームに入所することにしましたが、デイサービスを利用していたときから様子がわかっていたので、迷うことなく決めました。私は、子どもが手を離れてからは、よく旅行に行ったりしていましたが、だんだん家族に負担をかけることがつらくなってきたことが入所を決めた理由です。

私の願いは、最後まで仁生園で過ごすことです。職員のみな様、どうぞよろしくお願ひします。

ご家族のみな様にお願ひ

ご登録いただいた緊急連絡先または医療保険証などに変更がある場合には、仁生園までご連絡ください。

担当 相談員 坂本 仁

ご芳情 (八月一日〜八月三十一日)

- ・北杜市 金曜会
- ・北杜市 望の会
- ・北杜市 保坂 多枝子
- ・北杜市 小野寺 毅
- ・北杜市 山鳩の会
- ・北杜市 絵手紙クラブ
- ・天理教北巨摩支部
- ・レクボランティアほがらかグループ
- ・レクボランティアゆずっこの会
- ・下村四区婦人部部長 滝田 き代子

様様様様様様様様様様

利用者状況 (八月末現在)

仁生園入居者	平均年齢	一三二名 八十三・六歳
ショートステイ	利用状況	一日〓九・〇〇名
デイサービス	利用登録者	長坂町・他市町村 一一一名
グループホーム	やすらぎ	九名
生活支援ハウス	こあらま	八名

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340

担当 清水 俊彦